

森のたより
(一社)飯南町観光協会
76-9050

大阪・阿倍野にて
森林セラピーのPR



皆さん「しまコトアカデミー」ってご存じですか?「しまコトアカデミー」とは、島根のひと・地域・暮らしに関心をもち、つながることで、自分と地域をもっと楽しく、豊かにしていきたいと考える県内外のひとを対象に、2012年から毎年開催している「ソーシャル人材育成講座」です。

今回はこの講座OGのお2人にお誘いいただき、森林セラピーのPRに行っていました。

大阪・阿倍野のノスタルジックな商店街を舞台に「五感でほぐす、わたしたちの島根」と題してお届けしました。主催者は大田や奥出雲、安来や飯南を訪れており、都会から見た島根の魅力を来場者に伝え

るイベントでした。

事前予約制でしたが、飯南町からは森林セラピーオプションの「森の香り袋づくり」を体験いただきました。都会の皆さんにはスギやヒノキの枝葉だけでも貴重なようで、余りも持って帰られる方もいました。(大雪の中採った甲斐があります)

島根の穏やかな時間の流れに惚れ込んだお2人の島根愛はとても素敵で、県外にもこんな熱い想いの方たちがいる事を知り、とても心強くなりました。



飯南高校卒業生へ
「ふれあい」を贈る

飯南高校生は必ず1度は森林セラピーを体験してくれています。そんな生徒たちも3月1日に無事卒業式を迎えました。

飯南高校は町外出身者の割合も多く、卒業後は地元に戻ったり、進学・就職などさまざまなライフステージに進まれます。

これから始まる新生活の中で辛い事、苦しい事もきっとあるでしょう。そんな時、自然豊かな飯南町の森の香りが、共に学んだ仲間の事や飯南町をほんのちよっと思いつくアイテムになればうれしく思います。そしていつの日か、飯南町にぜひ帰ってきていただきたいですね。

こんにちは
中山間地域研究センターです。

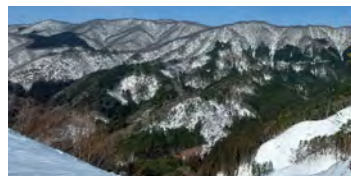
県民の森へ行こう!

●中山間地域研究センター 76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



県民の森でスノーシューハイク

2月15日に県民の森ふれあい講座「スノーシューで雪の森を楽しむ」を開催しました。節分荒れによる大雪で、和恵県有林は1メートルを超える雪が積もりました。この雪の中をスノーシュー(雪の深い場所でも沈み込まず歩ける道具)を使い、高低差200メートルを登って下りました。



目的地の標高773.7メートル地点からの琴引山稜線



当日は、これまでの荒れた天気から一変し、風もなく穏やかな天気となりました。距離4キロ、2時間半のコースを歩き景色を楽しみました。

目的地の標高773.7メートル地点からは、青空の下、正面に和恵県有林や琴引山の稜線が広がり、感動的な眺めでした。



下りは作業道を通り、令和4年度から取り組んでいる主伐エリアを眺めながら、100年杉林を歩いて「もりのす」前へ下山しました。

昼食後、空き缶を使ったポップコーン作り、杉丸太のスウェーデントーチで焼きマシュマロを楽しみ、ほっと温まるひとときを過ごしました。



令和7年度も、1年を通して「県民の森」の魅力を感じていただけるよう、登山や木工教室など、様々な講座を企画しています。ご参加をお待ちしております。

ふれあい講座レポート

これまでに開催した「ふれあい講座」をコラムでご紹介しています



短歌

頼原公民館短歌教室 二月詠草

宮島の小鹿なでたき幼子はいそ触れず手は伸ばしつ
塾帰り車中の子とのこの会話冷凍したまま解凍すまい
大寒に積雪ゆるめど眠る田は白さ一面春まだ遠し
初場所の優勝かかる大一番知らず知らずにヤグラを掴む
暖冬か睦月過ぎしや露の臺降らない雪に想いを込めて
青空を吸い込むやうに深呼吸吸いぎ雪道へ犬と飛び出す
雨ならば狐の嫁入り雪ならば午後の陽射しは畳に届く
人影も人声もなき日曜日冬の陽差し温めくと照らす

石川 隆
大野 順子
奥田 博昭
景山 牧栄
景山 稔
鳥田 勝信
塩田美代子
千葉トミエ

俳句

琴峯華句会 二月の作品から

春待ちて君子蘭の芽慈しむ
残る雪玉ねぎ肥料撒けぬまま
薄日射し六花に影のひとつつつ
逃げ込みし小鳥隠して藪椿

田部智津子
土池 博子
朽木 豊子
松平富美子

卵割る黄味の立ちたる余寒かな
孤高なる寒満月に照らさるる
裏山に荒き風音寒波来る

八嶋 敏江
山崎恵美
八嶋 昭男

すこやか

2月届出分

新生児 届出人 地区
波多野みこと ちやん 悟 (下赤名)

やすら

2月届出分

お名前 親族 地区
片岡 千鳥 様 (91) 典 子 (敷波)
本間 利充 様 (93) 慎 久 (川東)
高橋 辰枝 様 (96) 弘 秋 (下来島)
小田 春雄 様 (89) 雅 生 (寺沢)
伊藤 澄江 様 (89) 厚 志 (角井)
三嶋 啓治 様 (91) 康 広 (佐見)
安部 凱人 様 (84) 易 子 (赤名)
本多 房代 様 (54) 経 宏 (谷)
難波 唯子 様 (99) 俊 司 (谷)
小野 祝 様 (74) 敬 史 (下赤名)
深石 千鶴 様 (58) 達 也 (奥畑)
松下 清之 様 (87) 彰 則 (谷)



今日の人権標語

令和5年度
「家族でつくる人権標語」優秀作品から

話し合い
心の力
つけたいなあ

赤名小学校 3年 水谷 春陽 さん
家族名 千恵子 さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

頼原小3年生の5人が、志々小3年生と共同で製作したしめ縄を交流センターとんばらに贈呈しました。

代表で挨拶をした渡邊楓菜さんは「僕たちが作ったしめ縄をたくさんの人に見てもらい、頼原の魅力を伝えていきたいです」と話しました。

